

こども版 さわってほしくないチェックリスト

なまえ_____ ねんれい_____ さい
(やくのなまえ_____)

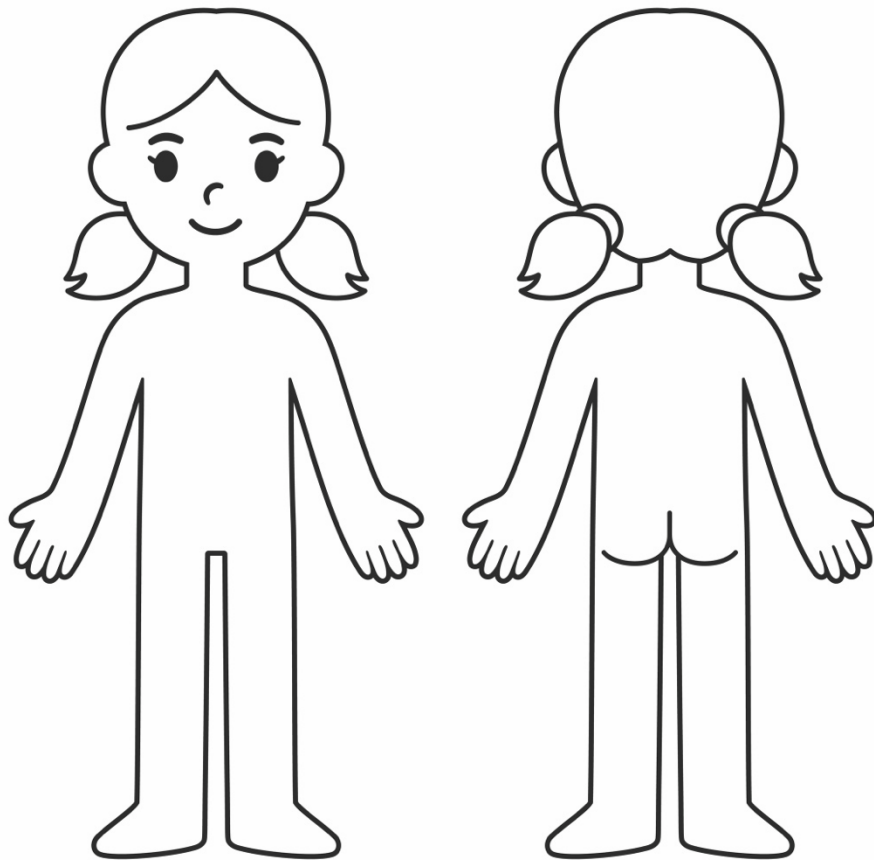
○つかいかた

さわられたくないところ、^み見られたくないところ、^{しゃしん}写真や^{どうが}動画を^とってほしくないところに
しるしをつけてください。「いやなこと」や「してほしいこと」も^か書いてください。

○こんなときに

かんとくや^{せんせい}先生、いっしょに^{れんしゅう}する^{ひと}人に、^{こえ}声に出して^だ言いにくい^いときにつかえます。

からだの、さわられたくないところや、^み見られたくないところは、^{ひと}人によってちがいます。
だから、「ここまではだいじょうぶ」ときめつけないで、はじまる^{まえ}に、ゆっくり話し^あうこと
が^{たいせつ}大切です。言いにくいときに、^{じぶん}自分の^{きもち}気もちをつたえるために、つかってください。



※複製・無断転載はお控えください。



こども版 さわってほしくないチェックリスト

なまえ_____ ねんれい_____ さい
(やくのなまえ_____)

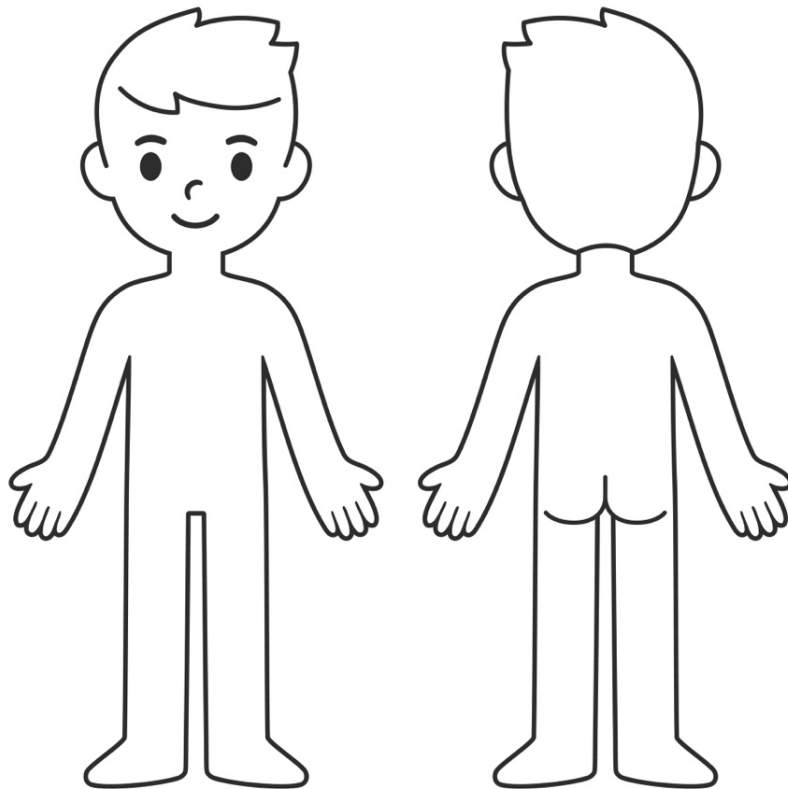
○つかいかた

さわられたくないところ、^み見られたくないところ、^{しゃしん}写真や^{どうが}動画を^とってほしくないところに
しるしをつけてください。「いやなこと」や「してほしいこと」も^か書いてください。

○こんなときに

かんとくや^{せんせい}先生、いっしょに^{れんしゅう}する^{ひと}人に、^{こえ}声に出して^だ言いにくい^いときにつかえます。

からだの、さわられたくないところや、^み見られたくないところは、^{ひと}人によってちがいます。
だから、「ここまではだいじょうぶ」ときめつけなくて、はじまる^{まえ}に、ゆっくり話し^あうこと
が^{たいせつ}大切です。言いにくいときに、自分の^{きもち}気もちをつたえるために、つかってください。



※複製・無断転載はお控えください。



こども版 さわってほしくないチェックリスト

なまえ_____ ねんれい_____ さい
(やくのなまえ_____)

○つかいかた

さわられたくないところ、^み見られたくないところ、^{しゃしん}写真や^{どうが}動画を^とってほしくないところに
しるしをつけてください。「いやなこと」や「してほしいこと」も^か書いてください。

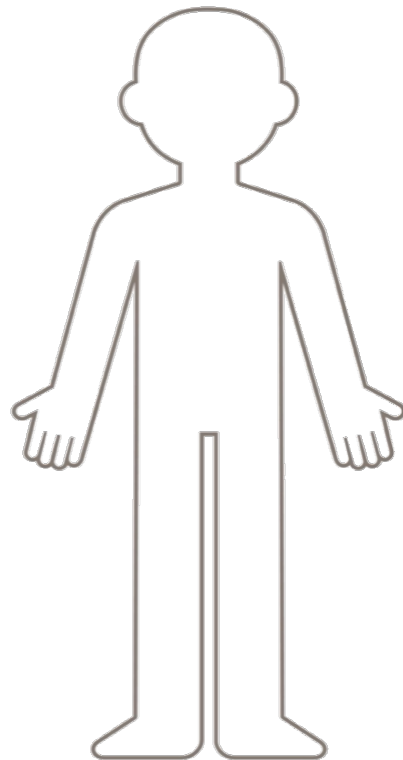
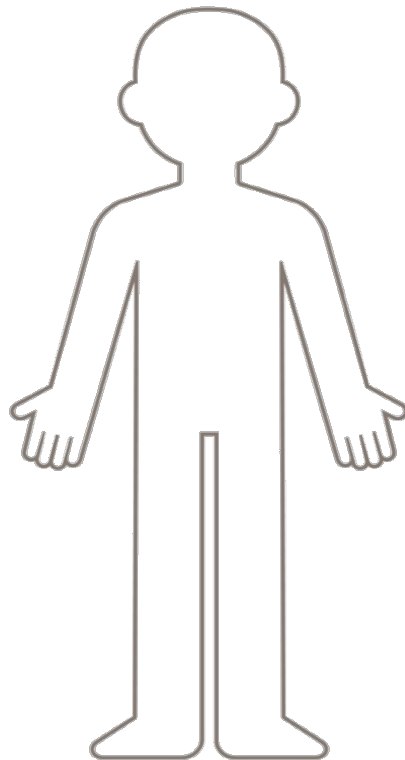
○こんなときに

かんとくや^{せんせい}先生、いっしょに^{ひと}れんしゅうする人に、^{こえ}声に^だ出して^い言いにくいときにつかえます。

からだの、さわられたくないところや、^み見られたくないところは、^{ひと}人によってちがいます。
だから、「ここまではだいじょうぶ」ときめつけないで、はじまる^{まえ}前に、ゆっくり話し^あ合うこと
が^{たいせつ}大切です。言いにくいときに、^{じぶん}自分の^{きもち}気もちをつたえるために、つかってください。

ま え

う し ろ



※複製・無断転載はお控えください。



か かた れい ばん 書き方の例 こども版 さわってほしくないチェックリスト

なまえ_____ ねんれい_____ さい
(やくのなまえ_____)

○つかいかた

さわられたくないところ、^み見られたくないところ、^{しゃしん}写真や^{どうが}動画を^{とって}ほしくないところに

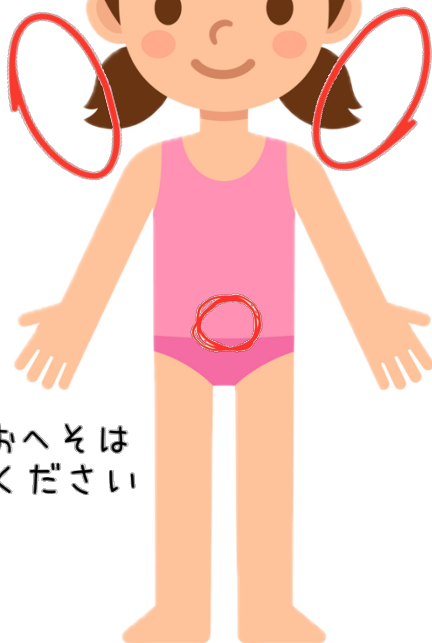
しるしをつけてください。「いやなこと」や「してほしいこと」も^か書いてください。

○こんなときに

かんとくや^{せんせい}先生、いっしょに^{れんしゅう}する^{ひと}人に、^{こえ}声に出して^い言いくいときにつかえます。

からだの、さわられたくないところや、^み見られたくないところは、^{ひと}人によってちがいます。
だから、「ここまではだいじょうぶ」ときめつけないで、はじまる^{まえ}に、ゆっくり話し^あうことが^{たいせつ}です。言いくいときに、^{じぶん}自分の^{きもち}気もちをつたえるために、つかってください。

かみをさわるときは、
さきに「さわるよ」と
いってください。



おへそは
うっさないでください



しゃしんや^{どうが}は、
どんなふうにつかうか、
おしえてください。

足はくすぐったいので、
さわるまえにってください。

※複製・無断転載はお控えください。



保護者・先生・指導者・制作現場のみなさまへ

- ・このチェックリストは、こどもが「いやだ」「こわい」「言いにくい」と感じることを、安心して伝えるためのものです。書いた内容を見たときは、理由を無理に聞き出したり、気持ちを否定したりせず、まずは本人の言葉を受け止めてください。
- ・撮影や練習、発表の場では、こどもの意思をそのつど確認し、途中で気持ちが変わった場合も尊重してください。「ここまでは大丈夫」と大人が判断せず、こどもが安心して断れる環境をつくるのが大切です。
- ・心配な様子がある場合や、対応に迷う場合は、保護者、学校、主催者、制作者、専門機関など信頼できる大人同士での連携を推奨します。
- ・こども性暴力防止法の技芸の指導に関するガイドラインは、日本芸能従事者協会ホームページを参照してください。

<https://artswokers.jp/こども性暴力防止法-ガイドライン-民間教育事業/>



* MEMO -----

※複製・無断転載はお控えください。

